



学校便り

# 高甫っ子

令和元年12月12日

NO 16

須坂市立高甫小学校

文責 黒岩

【学校教育目標】 明日の日本をになう子ども たくましく かしく ほがらかな 高甫っ子

## 心の眼

校長講話

### どんなかんじかなあ

中山千夏

ともだちの まりちゃんは めがみえない。それで かんがえたんだ。みえないって どんなかんじかなって。しばらく めをつぶっていたら わかるかもね。うん、めをつぶってみよう。

なんて たくさん いろいろな おど!!

ばくは おどろいてめをあけた。まえと おなじ しんとした よのなかだった。だから まりちゃんにあったとき いったんだ。「みえないって すごいんだね。あんなに たくさん きこえるんだものね。みえるって そんだね。ちょっとしか きこえてないんだものね」まりちゃんは わらって、こういった。「ひろくんって、かわってる」



みんな目をつぶってごらん。 ～神様のカルテ～

この音楽を聴いてどんな印象を持ちましたか？

この曲を作曲したのは、辻井伸行さんという人です。知っている人はいますか？

辻井さんのプロフィールを簡単に話します。辻井さんは、1988年9月13日生まれです。今年で31歳になります。小さい頃からピアノを習いはじめて、数多くのコンクールで優勝をおさめ、21歳の時には、アメリカのヴァン・クライバーン国際ピアノコンクールで日本人初の優勝者となったピアニストです。

その時の審査員の一人が彼の演奏を聴いて次のように言いました。「彼の演奏で一番特別なのは、音だと思えます。ともすると、音の色づけが貧弱になりそうなところですが、彼の音楽は深みや色彩を感じさせてくれます。最初に耳にしたときは本当にびっくりして、いっぺんで大好きになりました。」

辻井さんの音楽から「色彩を感じた」と言っています。皆さんは、このピアノの曲からどんな景色、色を感じましたか？音楽で色を表現するってすごいね…。

でももっとすごいのは、この辻井さんは、生まれたときから目が見えないということです。つまり色はおろか景色も一度も見たことはないのです。そんな彼がどうしてこんな素晴らしい曲をつくることができたのでしょうか？

彼が2歳の時のことです。台所で晩ご飯をつくっていたお母さんの耳に「ジングルベル」のピアノ伴奏が聞こえてきました。はじめはラジオの音かと思ったそうです。となりの部屋をのぞくと、そこにはおもちゃのピアノを弾く伸行くんの姿がありました。彼は目が見えないので楽譜は読めません。だから、お母さんが毎日口ずさんでいた「ジングルベル」を聴いていて、いつの間にか弾けるようになっていました。彼の耳には、どんな音も聞き分けられる「耳の才能」が備わっていたのです。人間には五感（視覚、聴覚、触覚、味覚、嗅覚）というものが備わっています。しかし、彼には視覚がありません。そのぶん他の感覚が優れていたようです。彼は、言葉をしゃべりだすよりも早く、歩きだすよりも先にピアノの演奏を始めていたのです。

この後、彼の才能が開花するある人との出会いがあります。それは「フロックスはわたしの目」の作者、福澤美和さんです。福澤さんも目が見えません。盲導犬をたよりに生活をしていました。彼女が伸行くんのお母さんに「人が生きていくのに、視覚障がいのあるなしなんて関係ありません。この子には普通の子と同じように美しいものを見て、何でも体験させて、人生を楽しませてあげてください」といいました。それからというものお母さんは、目の見えない伸行くんを色々なところへ連れて行きました。そして、お母さんの感じたままを言葉にして伝えました。伸行くんは、後に「僕は自然や芸術の美しさが心の眼で見えるんです。いつもからだのなかには、大自然のなかで感じる心地よい風が吹いています。小さい頃から実際にその場に行くと、音を聞いたり手でさわったり香りをかいだり、体全体で感じることでその美しさを体験してきました。そういう記憶をたくさん持っていることが、演奏にもいい影響を及ぼしているのだと思います。」と述べています。彼の「心の眼」が開かれていきました。彼は多くの人と出会い、多くのことを経験し、色々なことに挑戦しました。彼の心の目で見た景色を音楽として聴くことのできる私は何て幸せなのかと思います。辻井伸行さんは、目が見えないのにピアノが弾けるからすごいではありません。目が見える見ええないに関係なく、彼のピアノ演奏に多くの人が心揺さぶられます。

学校の周りの木々も色づいてきました。明徳山も赤く燃えていますね。これは、近くの紅葉です。よく見ると色は一様ではありませんね。でも同じじゃないから美しいですね。みんなと同じでいる必要はありません。皆さんも自分らしさをぜひ発揮してほしいと思います。



## 読書旬間



11月25日～12月6日まで、読書旬間でした。この間、子どもたちはたくさん本と出会いました。読書旬間の取り組みを紹介します。

### (1) 図書委員会の活動

- 3冊貸し出し…貸し出しカード15冊ごとに1枚プレゼント
- しおりプレゼント…コメントカード2枚でしおり1枚プレゼント
- 本の題名あて神経衰弱、本の表紙かるた

### (2) 先生方の「お話の部屋」

担任以外の先生方が、子どもたちに読み聞かせをしました。学年に合わせて本を選びました。

### (3) かたくりの会のお話会

低学年・高学年に分かれてお話を聞きました。



低学年は、「だいこんさんおふろにはいる」「きょうはなんてうんががいいんだろう」

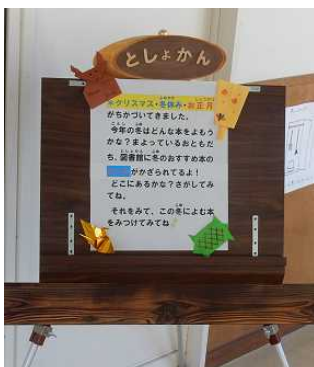
高学年は、「ココロのヒカリ」「ふくびき」

かたくりの会の皆さんは、夜2回公民館に集まって練習をしたそうです。子どもたちが話をしっかり聞いてくれるのが張り合いになるそうです。たしかに子どもたちは、絵本や画面に釘付けでした。かたくりの会の皆さんが選ばれる本は、大人でも考えさせられる内容のものが多くあります。同じ本は読めないのでも、毎回、新しい本を探すそうです。子どもたちの世界もどんどん広がります。

その他に、図書館では、司書の先生による読み聞かせを毎週行っています。



司書の先生の読み聞かせ



Welcome board

図書館の入口には、クイズやWelcome boardで、子どもたちの興味関心を高めています。

図書館の本を中心にたくさん本を読んでいます。

寒い夜は、こたつに入って、とっておきの1冊を！



## 歴史学習をふり返る！

6年社会見学

6年生は、11月26日に社会見学に行きました。コースは、長野県立歴史館～森將軍塚古墳～松代大本営地下壕です。

歴史館では、まず、バックヤードを見学しました。県内各地で発掘された遺物がたくさん保管されていました。実際に縄文土器と弥生土器を持ち比べてみました。持って見ると違いがよ～くわかりました。また、本物の人骨は迫力がありました。展示室では、時代ごとに当時の生活の様子が再現されていました。教科書で習ったことの復習ができました。

森將軍塚古墳は、長野県で最も大きな前方後円墳です。4世紀頃造られたものとされています。八丁鎧塚古墳が5世紀に造られたとされているので、それよりも古いものです。古墳の上からは善光寺平が一望できる大変眺めのいいところです。当時、こんな大きなお墓を造ることのできる権力者がいたことに驚きです。

お昼は、「古代風おにぎり弁当」を食べました。おにぎりは古代米とキビ入りです。ワカサギの甘露煮がおいしかったです。

最後は松代大本営地下壕です。75年ほど前に造られた地下壕が、今なお残っていることに驚きました。当時、全体の8割が完成していたそうです。当時の労働状況の痕跡が今なお生々しく残っていました。平和について考えるきっかけになりました。



## スケート教室開催！

1・2年生は、12月3日にスケート教室を行いました。場所は、Mウェーブです。靴の履き方は、事前にしっかり練習をしてきました。とはいえ、思うように靴紐が結べずに、ボランティアの皆さんに手を借りて準備OK！

まずは準備体操。慣れないスケートくつをはいて、立ったり座ったり…。



いよいよ滑走です。2年生は、昨年に引き続きということで慣れたものですが、1年生は初めてのため、最初はおっかなびっくりでした。お昼には、食堂でおいしいお弁当を食べました。午後になると体も動くようになりました。氷上とはいえ、子どもたちは汗だくになりました。転んでもすぐ起き上がって滑っているうちに、いつの間にかスィーと上手にコースを回れるようになりました。



2020年の防火ポスターです。5年、佐藤美月さんの作品が選ばれました！

今回のスケート教室では、たくさんの保護者の方にボランティアとしてお手伝いいただきました。感謝申し上げます。ありがとうございました。

## 焼きいもの季節です！

12月8日は、明徳山山頂もうっすら白くなりました。校庭の桜の木もすべて葉が落ちました。そこで落ち葉を集めて「焼きいも大会」を行いました。落ち葉を3つの山にして、6・1年、5・2年、4・3年の姉妹学級で行いました。おいもは学級園で育てたものです。形は色々でしたがおいしく焼きあがりました。



## 今年もヤマメの季節がやってきました！

千曲川漁業組合を通じて公益財団法人久保田水産振興財団より、90cmの水槽セットを2つ寄贈いただきました。これは、2年前より本校で行われているイワナ・ヤマメの飼育学習を評価していただき、今後も飼育学習に役立ててほしいということでした。

今年も新しい水槽の中でヤマメの卵500匹が無事孵化しました。



## おいしい干し柿ができました！

10月下旬につくったつるし柿もちょうど食べ頃になりました。

11月25日に4年生が柿もみを行いました。揉むことで渋を早く抜くことができます。だいぶ表面は固くなりましたが、もう少しで完成です。



12月5日に5年生が、干し柿を箱詰めしました。箱の中にわらを敷いて、30個ずつ2段詰めしました。今年は、昨年比べて若干小ぶりですが、表面には白い粉もふいて、おいしそうな予感がします！（まだ食べていません）年末に子どもたちが持ち帰るのを楽しみに。

12月5日に5年生が、干し柿を箱詰めしました。箱の中にわらを敷いて、30個ずつ2段詰めしました。今年は、昨年比べて若干小ぶりですが、表面には白い粉もふいて、おいしそうな予感がします！（まだ食べていません）年末に子どもたちが持ち帰るのを楽しみに。

6年生が、世界の人形博物館・版画美術館と連携して、「2019年度アートマイル国際共同学習プロジェクト」に参加しています。東京オリンピックを前に各国の壁画を作成します。本校は、ギニアを担当しています。普段あまり馴染みのない国だけに、子どもたちはどんなデザインにしたらいいか色々学習を進めています。



12月20日には、版画美術館でいよいよ制作に入ります。

## 今週のタングラム



毎週3題ずつ出題しています。正方形のパスルから、別の形を作ります。結構、難しいです。



環境委員会が12月4日～9日まで「町並みクリーン作戦」を行いました。朝の登校時に通学路の上に落ちていたゴミを拾い上げようという取り組みです。結構ゴミは少なかったです。

年末年始を控え飲酒の機会も増えます。そこで本校では12月14日～1月13日の間、「飲酒運転撲滅運動」を実施します。具体的には、飲酒運転は絶対に「しない」「させない」ために3つの約束を徹底します。

1. お酒を飲んだら運転をしない
2. 運転をする人にはお酒を飲ませない。
3. お酒を飲んだ人には運転させない。

## ご報告

高井小PTAでは、この度の台風19号の被害に遭われた方への義援金を募集し、70,676円集まりました。今後、上高井郡市PTA連合会が集約し、被害に遭われた方々へお届けする予定です。